

BYD、2025 年の年間国内新車販売実績と今後の展開を発表

- 2026 年は「新エネルギー車元年」と位置づけ、フルパワーで販売を加速
- 2025 年（1～12 月）の販売台数は 3,742 台（前年比+68%）で 3 年連続の成長を達成
- 2025 年 4 月発売の BYD SEALION 7 が販売を大きく牽引
- 2026 年も新車販売、正規ディーラー網の拡充などで国内事業展開を加速



BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、以下：BAJ）は、1 月 9 日（金）、幕張メッセ（千葉・幕張）で開催された東京オートサロン 2026 のプレスカンファレンスで、2025 年の振り返りと今後の展開などについて紹介。BYD 乗用車の 2025 年（1 月～12 月）国内登録台数※が 3,742 台（対前年同期比+68%：乗用車のみ）となり、3 年連続しての成長路線を維持したことを発表しました。

※1 JAIA（日本自動車輸入組合調べ）

■BYD Auto Japan 株式会社 代表取締役社長 東福寺のコメント

「3 年連続しての成長は、日頃から BYD をご愛顧いただいている全国の BYD オーナーと BYD のビジネスパートナーの皆様のお陰であり、心から感謝と御礼を申し上げます。今年、BYD Auto Japan は、電気自動車とプラグインハイブリッドによる「新エネルギー車元年」と位置づけました。

今後は積極的な新車攻勢で、多くのお客様に身近な e-モビリティをご提供するとともに、安心してい

ただけるディーラーネットワークの拡充を図り、日本の脱炭素社会の実現に向けた貢献と、皆様から信頼されるブランドを目指して努力してまいります。」

■今後の事業展開について

BAJ は、2026 年上半期に、「BYD DOLPHIN（ビーワイディー ドルフィン）」および「BYD ATTO 3（ビーワイディー アットスリー）」、コンパクト SUV 2 モデルのアップデートを行い、順次、市場に導入していく。さらに今夏には、軽 EV の「BYD RACCO（ビーワイディー ラッコ）」を導入。

26 年後半に向けては、コンパクト SUV の「BYD ATTO 2（ビーワイディー アットツー）」、ステーションワゴンの「BYD SEAL 6（ビーワイディーシール シックス）」といった 2 モデルの新型車の導入を表明しました。なお、各モデルの詳細は、順次発表する予定です。

【BYD Auto Japan 株式会社について】

BYD の日本法人 BYD JAPAN 株式会社の 100%出資子会社として設立した BYD Auto Japan は、日本での BYD 製乗用車の販売およびサービスを専門に行う会社です。

社名	BYD Auto Japan 株式会社（英名：BYD Auto Japan Inc.）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町 1 番地 7 横浜ダイヤビルディング 19F
事業内容	BYD 製乗用車の販売、アフターセールスおよびその他関連業務
代表取締役社長	東福寺 厚樹

販売ネットワークの準備状況は、WEB サイト（URL：<https://byd.co.jp/e-life/dealer/>）をご参照ください。

【BYD グループとは】

BYD グループは、中国・深圳に本社を置くグローバル企業であり、環境に優しい世界を追求するためのイノベーションを提供しています。1995 年にバッテリーメーカーとして創業した BYD は現在、IT エレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティといった多様な領域で事業を展開しています。特に自動車分野では、現在 6 大陸、100 以上の国と地域、400 以上の都市で電気自動車を展開しており、独自の技術で開発したブレードバッテリーや e-Platform 3.0 といった最先端のテクノロジーを強みにしています。また、世界的に高まりつつある EV シフトに先駆け、新エネルギー車（EV、PHEV を含む）の生産を積極的に進めたことで、世界でもトップランナーとしての躍進を始めています。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026 年 1 月 14 日（水）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

以上

本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>